

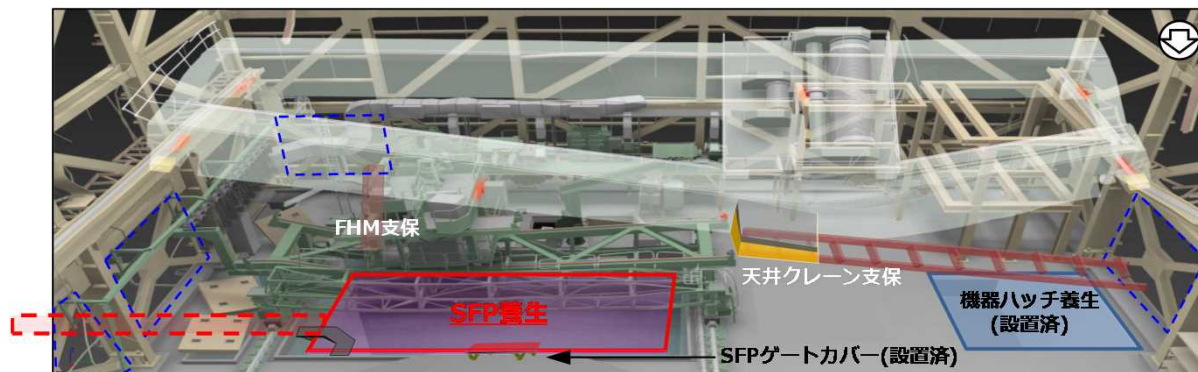
1号機使用済燃料プールにおける養生バック設置作業について

東京電力ホールディングス株式会社（2020年6月15日）

特定原子力施設監視・評価検討会
(第81回)
参考1-2

<概要>

- 1号機原子炉建屋においては、ガレキ撤去作業にあたり、万が一、屋根鉄骨・小ガレキ等が使用済燃料プール（以下「SFP」）に落下した際に、SFP内に保管されている燃料等の健全性に影響を与えるリスクを低減することを目的に、SFP上（水面上）への養生バックを設置する計画。
- 6月8日にSFP上（水面上）へ養生バックを投入・展張し、6月11日に養生バック内部へのエアモルタル充填を完了。今後、養生バックに移動防止用の固定スペーサ設置等を行う。
- 引き続き、2027年度から2028年度に開始予定の燃料取り出し作業に向けて、安全最優先でガレキ撤去作業等に着実に取り組んでいく。



【ガレキ等落下防止・影響緩和対策の概要】

☐:養生バック及び養生バック投入装置設置箇所 ☐:Xブレース撤去箇所



【オペフロ作業床に設置された養生バック及び養生バック投入装置※】

※:図内の時刻は参考時刻

1号機養生バック設置の状況



【養生バック投入前のSFP※】



【SFP上で養生バック展張完了※】



【養生バックへのエアモルタル充填が完了※】

※:図内の時刻は参考時刻